

環境会計

ニチレイグループは、環境保全活動に要したコストおよび環境保全上の効果を定量的に把握するために、2000年度より環境会計を導入しています。

環境保全コスト

(単位:千円)

コスト区分	主な取組み内容	食品工場		物流センター	
		投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト		74,898	882,112	311,789	298,439
内訳	公害防止コスト	32,061	562,556	37,623	66,336
	食品工場 ● 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 ● 加熱や給湯のためのボイラー設備や食品臭気対策設備の維持管理 物流センター ● 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 ● 停車トラック騒音対策				
	地球環境保全コスト	32,437	22,073	274,166	70,994
	資源循環コスト	10,400	297,482	0	161,108
	上下流コスト	0	0	0	21,263
	管理活動コスト	0	23,657	8,673	26,999
	社会活動コスト	0	0	0	691
合計		74,898	905,770	320,462	347,392

2013年度投資額の主な内容

(食品工場)

- 高効率冷凍機の導入
- 廃水処理設備の維持、負荷低減
- 設備の省エネ対応
(省エネ設備やLEDの導入、電力の見える化)

(物流センター)

- 自然冷媒を使用した冷凍機の導入
- 省エネ型の照明器具の導入
- 設備の省エネ対応
(省エネ設備の導入、電力の見える化、防熱)

集計範囲

国内の主な食品工場および物流センター

集計の考え方・方法

- ①減価償却費は経理システムの「固定資産一覧」を基に、廃水処理設備などの環境負荷に関わる設備を対象とし、法定耐用年数を用いて計算しています。
- ②人件費は環境保全活動ごとに必要となる作業工数を割り出し、作業工数に作業人員数および事業所の平均賃率を乗じて算出しています。

2013年度環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		効果金額
収益	リサイクルによる売却益	36,201
費用削減	廃棄物削減による原材料、資材購入費および廃棄物処理費の削減	10,857
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(電気)	6,911
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(熱)	3,173
	省資源(節水、容器包装減量など)	7,008
合計		64,150

集計範囲

ISO14001認証取得済みの11工場

集計の考え方・方法

- ①測定結果などに基づき集計可能な実質的効果(リサイクル推進活動により生じた売却益、電力削減などにより生じた費用削減)についてのみ集計しています。
- ②2012年度および2013年度に新たに実施した環境保全活動(年度の途中から実施したものも含む)によるもので、2013年度に発生した利益貢献金額に相当します。